

看護だより

NURSE

平成19年2月2日

暦のうえでは立春を迎え、草花も新しい命を芽吹かせる季節となりました。しかし、まだまだ寒く体調を崩しやすい時期でもあります。自己管理を徹底し、心身ともに健康な状態で患者様と向き合い、安全で思いやりのある看護を提供できるようにしましょう。

これからの新人看護師教育



教育担当師長 久米 淳子

自院看護部の教育理念は『看護専門職として、主体的・自律的に知識・技術・感性を高めながら質の高い心のこもった看護を実践できる看護師を育成する』です。

現任教育委員会では、来年度の新人看護師教育を大幅に見直しました。4月より、2週間のオリエンテーション・集合教育を経て、6月末までの3ヶ月間を各部署でのローテーション研修としました。オリエンテーション・集合教育では、臨床でよく実践する看護技術の基礎知識習得を目的とした技術教育を中心に企画しています。その後のローテーション研修では、個々の新人看護師の「技術経験チェック表」を基にして、習得して欲しい看護技術をひとりひとり丁寧に指導していきたいと思っています。このローテーション研修が、新人看護師達の今後の看護活動の自信と発展に繋がる事を期待しています。

これからの新人看護師教育は、学習者も教育者も共に楽しみながら学びあう事が大切です。また教育する側には、柔軟性と遊び心を持ちながら、教え・育てる事の楽しさを実感してもらいたいと思っています。

現任教育委員会メンバーです

やがてくる新人看護師さん達へ一言「私達と一緒に看護を楽しみ共に学びましょう。あなたに会える日を楽しみにしています。」

一緒にがんばりましょう！！

お知らせ

2月 6日(火) 新人フォローアップ研修 16:00~17:15 2階会議室
(一年の振り返り)

2月 27日(火) 准看護師研修発表会 17:30~19:00 2階会議室

研修報告

プリセプタ-シップ

平成18年12月7日 3階病棟 松本 昌樹

現在、自分が行っているプリセプター制度の見直しと修正に重点を置き研修に参加した。研修では人材育成能力に関してアビリティとコンピテンシーが重要視されていた。アビリティは技術に関する事に対して、コンピテンシーとは学歴や知能は業績の高さとさほど関係なく、高業績者にみられるいくつかの共通の行動パターンである。そして、コンピテンシーの育つ条件として自分の力で成し遂げた経験からくる「充実感」や「達成感」から広がるものであり、アビリティ・コンピテンシー共にバランスよく育てていかなければならない事がわかった。

今回の研修は、他病院の人達とグループワークで進行することがほとんどであった。その中で、自分以外のプリセプターの経験を聞いたり、悩みや問題の解決方法を共に考えたり、プリセプター制度の違いを知っていくことは、考え方の違いや様々なケースでの対応を他と比べられるという点でとても有意義であった。また良い部分は取り入れ、悪い部分は修正していくという指標にもなった。

今後は、「チェックリストのあり方」・「指導とフィードバックの徹底」・「病棟全体でのフォロー研修」を見直していきたいと思っています。

スタッフ育成のためのコーチング

平成18年12月18日 西4階病棟 山西 恵子

コーチングとは対象の思いを鮮明に察して、実践へ導いていくプロセスをいいます。指導者がスタッフを育成する時に参考にする手法として、すぐに実践できそうなことを二つ紹介します。まず、アンカー探し。アンカーとは見たり、聞いたり、触ったり、思い出したりすると元気になったり、気分が良くなったりするものです。講師のアンカーは、アメリカ大統領が大観衆の前で演説をするイメージだそうです。それを思い描くと、実際に研修の場に立っても「なんだ、こんなに少ないのか。」と緊張が解けていくとのこと。次は、リフレーミング。短所を長所に言い換えていきます。「短気」は『行動が早い。』、「口うるさい」は『人の面倒見がいい』となります。

1日研修では理解しづらい事もあり、自己研鑽を重ね、理解を深めていきたいと思っています。

摂食・嚥下リハビリテーション

平成18年12月22日 東5階病棟 竹内 美智

食とは人を良くすると書きます。食べる事は生きる楽しみであり、元気の源です。しかし脳血管疾患などで摂食・嚥下に問題があれば、経管栄養の適応になります。そして経管栄養に頼り、経口摂取が出来なくなる現状があります。人間にとって、口から食物を食べる事の意義は大きく、人間らしく生活していく事への希望と喜びをとりもどすサポートとして、摂食・嚥下リハは重要だといえます。これにはチーム医療が大切ですが、患者の情報を十分に把握し、医学的なアセスメントに基づいた処置と、全身ケアが出来る看護師が摂食・嚥下リハをリードしていく事でタイムリーな対応につながっていく事が解りました。

今回の研修で学んだ事を、これからの看護にいかしていきたいと思っています。